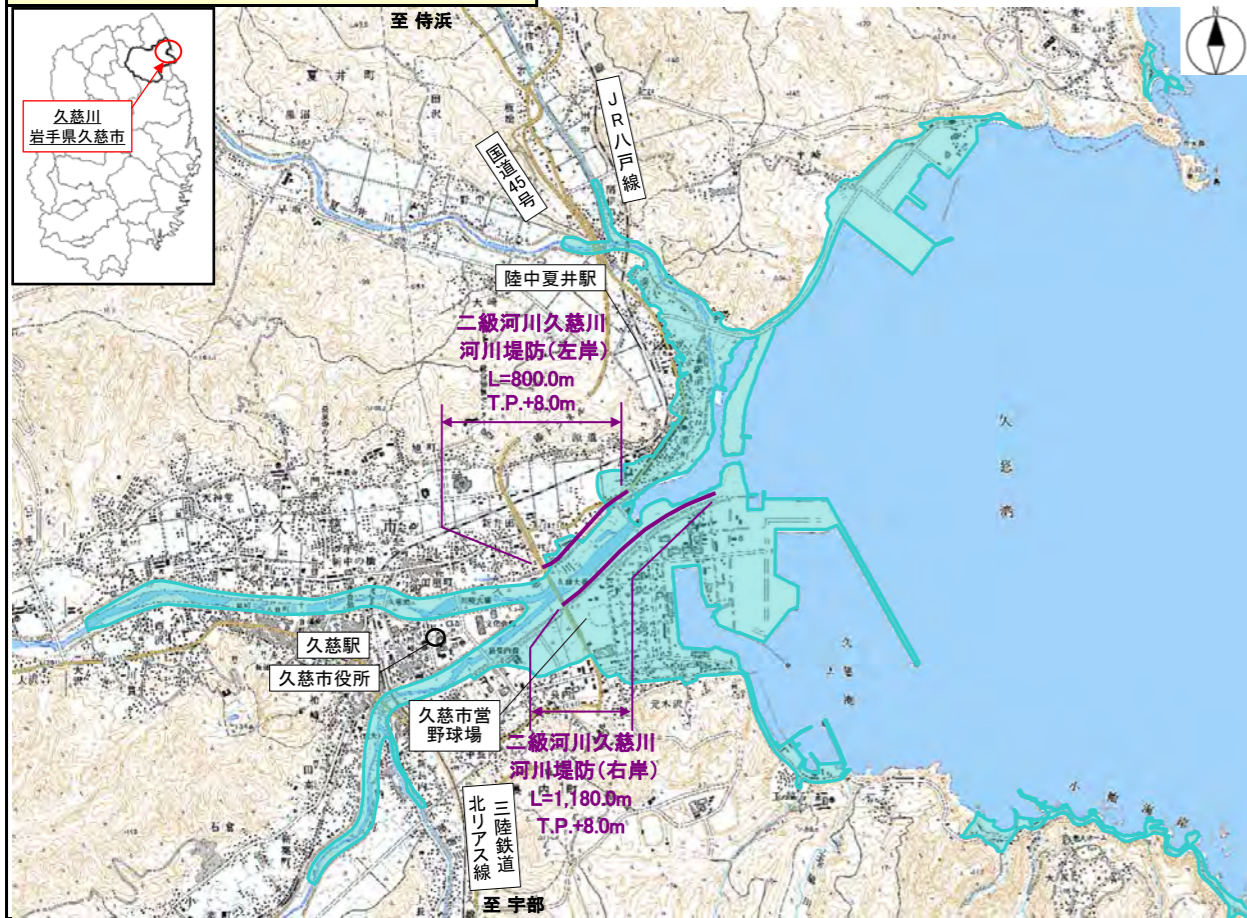
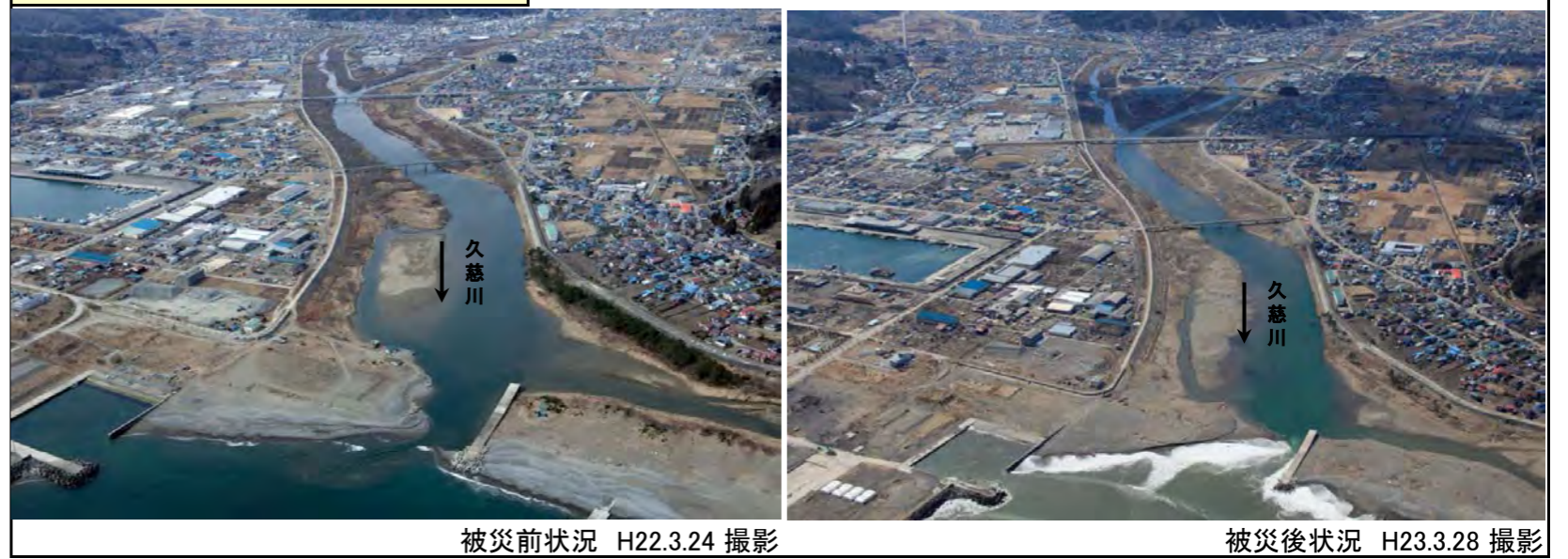


【位置図】（被災前施設状況）



【被災前後比較航空写真】



【計画堤防高の設定】

- H23.7.8付海岸関係省庁通知に基づき、以下の手順で計画堤防高を設定した。
 - ①過去に発生した津波の中から設計対象津波を選定。
 - ②せり上がりを考慮した津波の水位を算出し、設計津波の水位を算定。
 - ③余裕高1.0mを加えた高さを新計画堤防高として設定。
- 「岩手県津波防災技術専門委員会」での審議を経て、久慈川では新計画堤防高をT.P.+8.0mと設定し、既設河川堤防を嵩上げ復旧する方針。

【被災状況写真】



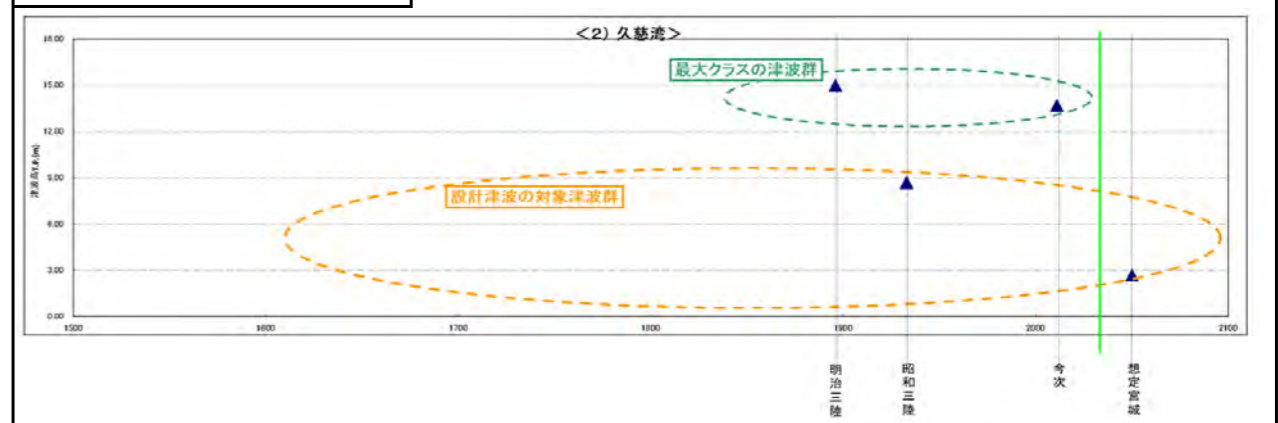
久慈川を溯上する津波(東日本大震災)

久慈川右岸側は浸水の形跡は見られるが、堤防の表、裏ともに損壊は見られない。



久慈湊漁港海岸の久慈川左岸の裏のり田津波の越流により損壊が見られる。裏側には損壊はない。背後地の家屋の損傷は一部全壊もあるが、その範囲は広くない。

【設計対象津波の選定】



【計画堤防高の設定】

地域海岸名	今次津波痕跡高	設計津波		設計津波の水位による堤防高設定	【設計津波の水位による堤防高設定】>【被災前計画高】のチェック	地域海岸内堤防高	被災前計画堤防高
		対象津波	設計津波の水位				
久慈湾	13.7	昭和三陸地震(東日本大震災)	5.4	6.4	被災前計画高にて決定	8.0	7.3~8.0

単位:m(T.P.)

